

授業科目名 (英文表記)	熊野郷土学2C ～郷土学からの地域振興～ <b>新宮会場</b> ( Kumano hometown study 2C)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	此松昌彦、出口竜也、竹林浩志、鈴木裕範、ゲスト講師(山田桂一郎、今井ひろこ、此松武彦、福村成哉、横山昌太郎)		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 6月27日(土) 13:00～17:00	観光学部竹林浩志 (ゲスト講師:横山昌太郎)	
	② 7月4日(土) 13:00～17:00	教育学部此松昌彦 (ゲスト講師:此松武彦)	
	③ 7月18日(土) 13:00～17:00	教育学部此松昌彦 (ゲスト講師:福村成哉)	
	④ 8月1日(土) 13:00～17:00	鈴木裕範 (非常勤講師)	
	⑤ 8月29日(土) 13:00～17:00	観光学部出口竜也 (ゲスト講師:今井ひろこ)	
	⑥ 9月5日(土) 13:00～17:00	観光学部出口竜也 (ゲスト講師:山田桂一郎)	

【授業のねらい・概要】 「熊野郷土学2C」では、熊野郷土学で今まで学んだ自然、文化、歴史、民俗、経済史、災害史、地域経営という観点から価値のある地域の人々の暮らしを学んできた。それを活用して将来への可能性考えることをテーマにする。そのために他地域と比較しながら、自分たちの価値を深めるエコツーリズムをはじめ、地域資源を活用するジオパーク、郷土食の活用、また紀伊半島を訪れる外国人が増えてきたことから、宿・民泊が地域と地域外のコミュニティのハブ的な役割を持つようになってきている。それらを総合化して地域を経営することとは何かを学びます。学生、自治体職員、地域づくり関係者、観光商工関係者、地域ガイド、ジオパーク関係者、教育関係者、UI ターン者など、幅広い分野からの受講を期待します。

【授業計画】 ※記載の講義順や内容は変更することもあります。

第1回 ガイダンス・「郷土資源の価値と商品化のとるべき戦略とは」 観光学部竹林浩志  
「ならではの商品と適正な価格とは」(ゲスト講師:横山昌太郎氏)

第2回 「インバウンドと地域コミュニティの入り口として、宿・民泊のこれからのスタイル」  
教育学部此松昌彦 (ゲスト講師:此松武彦氏 インバウンドライター)

第3回 現地踏査:南紀熊野ジオパークセンターの見学を予定  
「世界の中の南紀熊野、南紀熊野ジオパークからの地形・地質・風土」教育学部此松昌彦  
(ゲスト講師:ジオパークセンター研究員福村成哉氏)

第4回 「暮らしの視点からの地域文化の再評価と創造」鈴木裕範非常勤講師  
地域のアイデンティティである地域文化の多くが、コミュニティの変容、暮らしが揺らぐ中で、喪失と忘却の危機に立っている。伝統的な暮らしが育んできた地域の物語を捉え直し継承することの意義と可能性を考える。

第5回 「地域資源の価値をどう地域経営に活かすのか?」「Google マップ情報の活用事例と今後」  
観光学部出口竜也 (ゲスト講師:今井ひろこ氏)

第6回 「エコツーリズムの視点で見る郷土の資源の商品化から地域経営を考える」  
観光学部出口竜也、(ゲスト講師:山田桂一郎氏)

【到達目標】 紀伊半島の産業について考え、自らのことばで語ることができる。またそれらの興味に基づいて、自ら文献等を調べることができる。

【教科書】 特に定めません。基本的には適宜、講義ごとに資料を配布します。

【参考書】 『観光立国の正体』藻谷浩介、山田桂一郎著 新潮新書  
講義時に適宜、紹介します。(学部開放授業受講者用シラバスには記載されません。)  
出席状況と議論への参加、授業態度やレポートなど総合的に評価します。

【授業時間外学習】(学部生用には必須、学部開放授業受講者用は任意。共通でも可)  
紀伊半島の郷土や産業のニュースについて関心を持ちながら集めておいてください。  
地域でどんなことが話題になっているのか整理しておいて下さい。復習と自主的な学習が必要です。

【履修上の注意・メッセージ】 ※記載の内容は変更することもあります。  
基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。講義は1回完結です。郷土の地形地質が地域の暮らしにどうつながるのか考えてみて下さい。